

一般質問

町政を問う

今回5人が質問し、
その要約を掲載しました。

阿久津 則 男 議員…………… 5 P

- 教育行政について
- 町内の橋梁について
- 町営住宅について

加 藤 文 夫 議員…………… 6 P

- 町道の補修について

河原井 大 介 議員…………… 7 P

- 財政状況について
- 町長選挙時の公約（マニフェスト）について

南 條 治 議員…………… 8 P

- 学校給食について
- 環境整備について

三 村 孝 信 議員…………… 9 P

- キャンプ場について
- ホロルの湯について
- コミュニティセンター-城里について
- 町民運動会について
- 給食センターについて



阿久津 則男 議員

A 町内、中学生の学力向上等に全力を尽くしたい。又、各中学校に常北高校から教員が来て説明会を行っている。

Q 常北高校が水戸桜ノ牧高校の分校になった経緯と内容は。

A 県立高の第2次再編整備において今後生徒数の増加が見込めない県内2校1分校の学校が対象になった。内容は平成25年4月から1学級40人となり分校には校長を置かないので卒業証書は水戸桜ノ牧高校卒業となる。

Q 水戸桜ノ牧常北高校が長く継続できるような町としての対策は。

A 町が管理する橋は260橋。その内15m以上の40橋は平成20年度から点検に着手し、点検結果については、平成24年度に公表できる見込み。15m未満の橋は平成25年度以降点検を実施する。点検の内容は近接目視とハンマー及びクラッシングゲージ等の点検器具を用いたひび割れ、腐食等の点検を行う。尚、現在の所、危険度の判定までには至っていない。

Q 小学校閉校記念事業はどのように進める考えなのか。

A 1校当たり200万円計上し記念誌、記念碑、祭典等の使い方は各地区の閉校準備委員会に任せられている。

Q ひな形を作らず各学業に任せ、寄付金等で事業に格差がでないか。

A 各学校にできるだけお金をかけないで記念事業をするよう要望した。

Q 町内の橋梁で町が管

理する橋は幾つあり、点検は行っているのか。又危険と思われる橋はあるのか。

A 区長要望があれば点検する。資金面は、国土交通省より時限措置として費用の1/2を国が負担する補助金を活用する。

Q 15m以内の橋でも区長要望があれば点検はやるのか。又資金面はどの

A 現在418戸の内342戸に入居。中長期的には、280戸程度が望ましい。

Q 町営住宅の現状と今後の方針は。



Q 町営住宅の空状況、申し込み状況をホームページに載せることができなにか。

A 利用者に見やすく工夫し、掲載を実施したい。

Q 塩子塙団地の土地は会計検査の結果どうなるのか。

A 2,366㎡の遊休地は補助制度の事業をすることで国県と協議している。



(塩子塙団地 七会地区)

町道の補修について



加藤 文夫 議員

Q 町道、農道関係で、相当破損している道路があるとと思われるが、パッチング補修は、どのような

に行われているのか。
A 町道のパッチング補修は、そのほとんどが小規模施工であり、かつ早期の実施を求められることから、職員が直営にて施工している。国道や農道についても、同様な場合には、県に速やかな対処を働きかけるなど、町

Q 道路補修やセンターラインに関して区長から

民が安全に道路を利用できるような維持管理に努めている。
Q 町内を車で走行していると片側車線幅3メートル以上の道路で、センターラインが消えてしまっている箇所が数多く見受けられるが対処方法はあるのか。
A センターラインの補修費について明確な基準等がないことから、職員が発見したものや、利用者から苦情のあったものを対象に緊急性や予算を勘案しながら維持補修に努めている。



の要望件数は。
A 昨年度、区長からの道路に関する要望件数は、年間270件、破損道路のパッチング補修実施件数は約130件である。
 センターラインの補修件数はゼロ、区長要望もゼロである。県への道路関係補修要望件数は16件あり、町から県に対して補修要望をしている。

財政状況について

Q 当町の財政力指数は

茨城県内44市町村の中で43番目である。また、地方債残高（借金）は平成19年度127億4,463万円で住民一人あたり換算で約55万円であり、県内市町村で2番目に多い額になっている。さらに、地方交付税は38億6,305万円（平成21年）、人口2万2,210人（平成21年9月）、交付金

が住民一人あたりで約17万4,000円で県内市

町村で最も交付金を多くもらっている。当町の財政の特徴は、自主財源が極めて乏しく、国に依存しきっている。現在の状況をどのよう認識しているのか。また、今後の財政運営の取り組み方について。

A 歳入の根幹をなす徴

税収入は依然として低い水準にあり、本年度もさらに減少する見通しである。最大限、町民満足度を目指し、限られた財源でのコストパフォーマンスに努め、費用対効果を

追求することが使命である。行政評価制度の導入により健全な行財政を確立していく。

町長選挙時の公約（マニフェスト）について

Q 城里町の地域活性化

プランとして打ち出したマニフェストの現在の進捗状況は。

A 私の選挙公約、マニ

フェストは指針として7項目をまとめて、本町の活性化を目指すものである。着実に実現に向けた取り組みを進めてまいりますが、

（公表している財政状況一覧表）

特に企業を誘致することにより、町の活性化が期待される。現在、先進的環境産業である、電気自動車（EV）を核として、複合的施設の誘致に向けて関係機関との交渉を進めている。



河原井 大介 議員

子育て支援策として

学校給食について



南條 治 議員

Q 本町の学校給食制度はどのようなになっているのか。

A 完全給食。昭和29年に学校給食法が施行され、それに前後して給食開始。現在に至っている。

Q 子ども手当についても支給される額が当初の半額であり、期待もまさに『半減』。子育て支援として考えた場合、町としてももっと前向きに進めていくべきだと考えるが、又、給

食費未納の状況は。
A 21年度で110名。総額437万5,910円が滞納。

Q 給食費の大幅支援は考えていないのか。町で全額負担の場合は。
A これまで通り一定の受益者負担をお願いしたい。本年度の試算で9,846万円になる。



Q 町道を含めたなかでの小枝払いの要望は何件位あるのか。区長からの要望も合わせて何う。
A 20年度の通報等は16件。

Q 対処方法とその予算。

町として現況調査などしているのか。していればその内容と地権者に対してのお願いは。
よる枝払いが困難である場合など、道路の安全確保のため必要があると判断されたときは、職員直営、または、道路維持費により業者委託して実施。改めて現況調査はしていない。

A 町広報紙への小枝払いに関する町民への啓発、樹木の所有者への小枝払い実施のお願い。ただし、台風や降雪により倒木等が発生した場合や何らかの理由により、所有者に

町広報紙への小枝払いに関する町民への啓発、樹木の所有者への小枝払い実施のお願い。ただし、台風や降雪により倒木等が発生した場合や何らかの理由により、所有者に



環境整備について

キャンプ場について

Q ふれあいの里については、広場や温泉施設と関連づけ、通年利用を考えてもらいたい。

また、戸閉めとなっている物産センターも今後どうするのか。

A 今のところこれといった計画はないが、何かに利用できればいいと思っている。

Q うぐいすの里の展望風呂については、再開するのか。

A 全面的な修理が必要で、再開はしない。



(うぐいすの里)

ホールの湯について

Q 利用状況について伺いたい。

A 平成15年が最大で33万人、平成20年が24万、平成21年が23万となっている。町民の利用は割に満たない状況かと思う。

Q 町外利用がほとんどであれば、町外への積極的なPRにとり組むべきではないか。

A 町外の方に目を向けて、今後運営していききたい。

いた。

A 去年は、町内54区中37区が参加した。

Q 17区が不参加ということ、重く受けとめてほしい。

来年以降の開催の有無を含めて、検討の時期ではないか。

Q 参加状況について伺いたい。

A 今年も区長会議の中

コミュニティセンター 城里について

Q 研修室、和室等は活発に利用されているが、ホールについては利用率が悪い。町外の社会人や学生の音楽、演劇サークル等へ、使用料等を減免し利用を促してはいいか。

A このような団体へ貸してあげるのには大事なことで、規約等、今後検討していく。



(コミュニティセンター城里)

で協議することになっていく。今後については、町民の声を聞いて考えていきたい。

給食センターについて

Q 統合について伺いたい。

A 現在の児童・生徒数を一ヶ所ではカバーできない。そこで常北と七会を統合し、二ヶ所とした。将来は、生徒数の減少もあるため、常北に統合したい。



三村 孝信 議員